

# 日本バルブ工業会が70周年

## 新中計“V80”始動

### 一層の満足度向上へ

日本バルブ工業会(西岡利明会長)は6日、都内で第12回通常総会・創立70周年祝賀会を開催。来賓を含め、約300人が参加。実行委員会の企画のもと、多彩なイベントが催された。前期の中期活動計画はほぼ目標通りの成果を挙げ、今年度からの新計画「V80」その「STAGE I」(2024-2026)が「会員の期待以上に満足度の高い工業会を目指して」の目標のもと始動した。工業会の活動に今後も期待が集まる。



西岡会長



橋本審議官

総会では、昨年度の事業を報告し審議。うち、水栓部会では、「戸別給水用減圧弁の使用年数分イドライン」制定に向けた審議、海外の飲料水規制・化学規制と代替技術の調査、逆流防止に関するEN規格などの海外規格および国内実態の調査、水栓のLCA構築に向けたWGの設置等を行

った。「次世代につながる新しい働き方への転換」としては、関連技術の知識習得を目的とした「バルブ塾」やシニア人材の再

活躍に向けた意見交換会を開催。「バルブ女史ネットワーク」メンバーと会員企業女性社員との意見交換会も実施した。環境分野では、欧州で

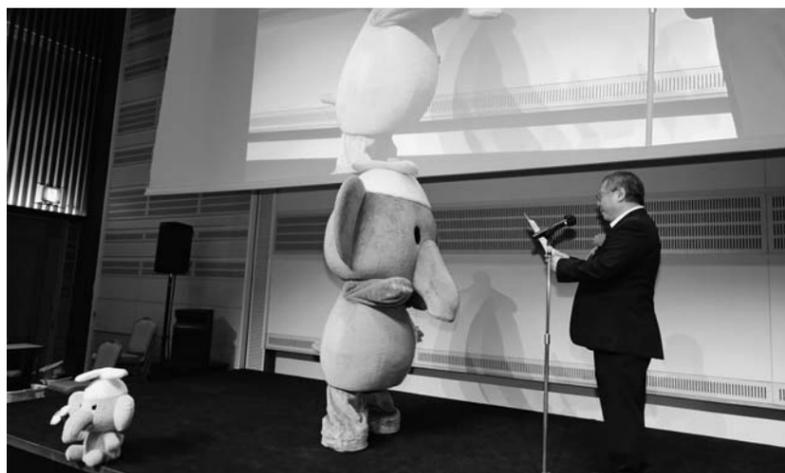
提起されたPFAS制限案への対応のため、環境



経営者と若手のパネルディスカッション



好評だった蝶花楼桃花さんの特別講演



「はるちゃん」に感謝状を贈呈



バルブ女史ネットワークがエクササイズ披露

委員会内に化学物質対策専門チームを設置。欧州化学品庁(ECHA)に、制限適用開始の猶予期間延長(用途によっては適用除外)を求めるパブリックコメントを提出した。省エネ推進セミナーの開催、CO2削減目標の検討等も行った。

昨年度は7社が入社。年度末の会員数は186社となった。今年度からは、新中期計画「V80」の計画期間10年間のスタート。その「STAGE I」は2024-26年度を計画期間とし、「会員の期待以上に満足度の高い工業会を目指す」の目標のもと、「サステナブルなバルブ業界へ」「次世代人材育成と働きやすい職場へ」「情報・事業の活性化に

よる認知度・満足度向上」「業界ネットワーク、産官連携強化による地位向上」の4題の重点課題の実現に努める。CO2は、2030年度に13年度比で46%の削減を工業会として目指すと宣言し、今後、会員のサポートに努める。

また、若手・次期経営者からなる「清流会」が寄付事業を始める。激甚災害からの復興のための寄付に加え、計画的な事業として、愛知県・地球博記念公園(モリコロパーク)に3年かけて植樹した「バルブの森」を作

ることを決定した。植樹場所は、ジブリパークの中で「ジブリの大倉庫」「魔法の谷」への導線に当たる、一般へのPR効果が高い箇所という。樹

中計は10年の計画期間を三つに分け、その最初のステージでは大所帯になった工業会の会員の皆さまの満足度向上・地位向上に努める。皆さまも工業会でもやりたいことをど



市民に安心・安全な『命の水』を届けます

## 全国管工事業協同組合連合会

(略称:全管連、国土交通大臣認可団体)

会長 藤川幸造

〒170-0004 東京都豊島区北大塚 3-30-10 全管連会館  
TEL 03-5981-8957 FAX 03-5981-8958  
URL <https://zenkanren.jp>

業界PR動画・漫画はこちらから

【本編】
【ダイジェスト】
【漫画】



総会終了後には、記念イベントとして、若手社員4人が司会との間で「努力は夢を叶えてくれる」と題し特別講演。積極的な行動で少しずつ落語の世界で地位を築くとともに、子供のころから

・先輩・同僚との関わりを紹介し、今後の工業会への期待等についても意見を述べた。今後の工業会イベントを開催したい」「勉強会にて横のつながりを深めたい」「女性の活躍につなげるような活動に努めたい」「本日発表があったような現場の改善事例について、今後も合同の発表の場があれば」等、積極的な意見が多く出て、来場者からも好評だった。また、女性ではまだ少ない真打ちに昇進した家の蝶花楼桃花さんが「誰でも、いつでも、努力は夢を叶えてくれる」と題し特別講演。積極的な行動で少しずつ落語の世界で地位を築くとともに、子供のころから